



平成19年3月期 第3四半期(9ヵ月通算)財務・業績の概況(連結)

平成19年1月26日

上場会社名 株式会社安川電機

(コード番号: 6506 東証第一部 福証)

(URL <http://www.yaskawa.co.jp/>)

代表者 役職名 取締役社長 氏名 利島康司

TEL: (093) 645 - 8810

問合せ先責任者 役職名 広報グループ長 氏名 赤木 博

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

固定資産の減価償却の方法や棚卸資産の評価の方法などについて一部簡便的な方法を採用しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有 詳細は添付資料9ページを参照

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 詳細は添付資料9ページを参照

2. 平成19年3月期第3四半期(9ヵ月通算)の財務・業績の概況

(1) 経営成績(連結)の進捗状況(平成18年3月21日~平成18年12月20日)

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		第3四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	265,005	16.1	22,657	62.8	22,908	63.4	13,494	134.2
18年3月期第3四半期	228,179	4.0	13,915	28.7	14,021	29.0	5,761	23.6
(参考)18年3月期	322,916		24,486		24,331		10,157	

	1株当たり第3四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり第3四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	58.13	51.70
18年3月期第3四半期	24.91	22.90
(参考)18年3月期	43.18	39.72

(注)売上高、営業利益、経常利益、第3四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同期比増減率であります。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	269,507	71,506	24.6	285.89
18年3月期第3四半期	249,789	48,137	19.3	208.12
(参考)18年3月期	255,222	52,750	20.7	226.51

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	9,066	3,609	6,699	12,008
18年3月期第3四半期	7,972	5,962	9,001	11,144
(参考)18年3月期	18,724	9,729	14,934	12,102

3. 平成 19 年 3 月期の連結業績予想（平成 18 年 3 月 21 日～平成 19 年 3 月 20 日）
平成 18 年 10 月 31 日に発表した業績予想を変更しておりません。

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	364,000 <small>百万円</small>	33,000 <small>百万円</small>	18,000 <small>百万円</small>

（参考）1 株当たり予想当期純利益（通期） 77 円 54 銭

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当グループでは今年度から 3 ヶ年の中期経営計画“ダッシュ 100”をスタートさせ、攻めの経営を展開しております。特に初年度である今年度は、既存事業の強化および事業領域拡大を図るべく、注力市場である自動車市場、半導体・液晶市場等での深耕と開拓、中国を中心とした成長市場であるアジア市場、欧米市場への拡販等に取り組んでおります。

この結果、当第 3 四半期（平成 18 年 3 月 21 日～平成 18 年 12 月 20 日）の売上高は前年同期比 16.1% 増の 2,650 億 5 百万円、営業利益は前年同期比 62.8% 増の 226 億 57 百万円、経常利益は前年同期比 63.4% 増の 229 億 8 百万円、第 3 四半期純利益は前年同期比 134.2% 増の 134 億 94 百万円と、前年同期に比べ大幅な増益となりました。

セグメント別の状況はつぎのとおりです。

[モーションコントロール]

A C サーボ・コントローラは、半導体・電子部品市場や海外市場が堅調で、インバータも海外の空調市場等を中心に好調に推移いたしました。

この結果、売上高は前年同期比 21.7% 増の 1,196 億 86 百万円、営業利益は前年同期比 85.9% 増の 152 億 29 百万円と大幅な増益となりました。

[ロボット]

自動車市場の需要は、国内市場は前年度下期の設備投資の調整局面による減少から徐々に回復傾向にあり、欧米市場においては投資抑制の動きが見られる中で拡販に努めてまいりました。一方、液晶市場や半導体市場に対して、用途および市場に最適な製品の拡販による既存市場の拡大を図りました。

この結果、売上高は前年同期比 5.4% 増の 895 億 44 百万円となりましたが、営業利益は高付加価値製品の売上減少および欧米市場の競争激化の影響もあり前年同期比 13.7% 減の 60 億 66 百万円となりました。

（注）従来の「ロボティクスオートメーション」の名称を今年度から「ロボット」に変更しております。

[システムエンジニアリング]

得意分野への特化およびコストダウンの強化を継続し、利益構造改革を推進いたしました。また、需要面では鉄鋼プラント用電機システムにおける需要増加を取り込むことに注力し、海外においては中国向けのクレーン用電機品が増加いたしました。

この結果、売上高は前年同期比 44.3% 増の 317 億 28 百万円、損益面では、6 億 34 百万円の営業損失となりましたが、前年同期比で 18 億 99 百万円改善いたしました。

〔情報〕

各種カードリーダーを中心とするマルチメディア機器等や、通信事業者向けシステム構築、半導体・液晶装置メーカー向けの制御用ソフトの需要が堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は前年同期比 14.4%増の 184 億 21 百万円、営業利益は前年同期比 5 億 68 百万円増の 5 億 28 百万円となりました。

〔その他〕

売上高は前年同期比 17.3%減の 56 億 23 百万円、営業利益は前年同期比 13.1%増の 14 億 30 百万円となりました。

〔財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等〕

資産、負債及び純資産の状況

資産の部では、流動資産は 1,856 億 82 百万円（前期末比 164 億 90 百万円増）となりました。

固定資産は、838 億 24 百万円（前期末比 22 億 6 百万円減）で、この結果、資産合計は 2,695 億 7 百万円（前期末比 142 億 84 百万円増）となりました。

負債の部では、流動負債は 1,281 億 85 百万円（前期末比 7 億 88 百万円減）となりました。

固定負債は、698 億 15 百万円（前期末比 4 億 6 百万円増）で、この結果、負債合計は 1,980 億円（前期末比 3 億 82 百万円減）となりました。

純資産の部では、利益剰余金の増加等により、純資産合計は 715 億 6 百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権、たな卸資産の増加や、法人税等の支出がありましたが、税金等調整前当期純利益等により、90 億 66 百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産等の取得による支出等があり、36 億 9 百万円の支出となりました。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは 54 億 57 百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の返済や配当金の支払等により、66 億 99 百万円の支出となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物は 120 億 8 百万円（前年同期比 8 億 64 百万円増）となりました。

（参考）

第 3 四半期個別経営業績の概況（平成 18 年 3 月 21 日～平成 18 年 12 月 20 日）

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		第 3 四半期（当期） 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 3 月期第 3 四半期	153,033	16.7	7,589	116.5	13,171	59.1	9,437	268.2
18 年 3 月期第 3 四半期	131,162	1.2	3,505	157.9	8,277	75.3	2,563	41.2
（参考）18 年 3 月期	189,518		8,146		13,047		3,803	

（注）売上高、営業利益、経常利益、第 3 四半期（当期）純利益におけるパーセント表示は、対前年同期比増減率であります。

平成 19 年 3 月期の個別業績予想（平成 18 年 3 月 21 日～平成 19 年 3 月 20 日）
平成 18 年 10 月 31 日に発表した業績予想を変更しておりません。

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	214,000 ^{百万円}	18,000 ^{百万円}	11,000 ^{百万円}

【注記事項】

業績予想数値につきましては、当社が現時点で合理的と判断した一定の前提に基づいたものであり、実際の業績は見通しと異なることがあり得ます。

以 上

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

期 別 科 目	平成 19年 3月期第 3四半期 (平成 18年 12月 20日現在)		平成 18年 3月期 (平成 18年 3月 20日現在)		増 減 (A) - (B)	平成 18年 3月期第 3四半期 (平成 17年 12月 20日現在)	
	金 額 (A)	構 成 比 %	金 額 (B)	構 成 比 %		金 額	構 成 比 %
(資産の部)							
流 動 資 産	185,682	68.9	169,192	66.3	16,490	164,672	65.9
現金及び預金	12,159		12,147		12	11,187	
受取手形及び売掛金	85,616		85,012		603	73,256	
たな卸資産	67,283		58,177		9,106	63,738	
その他流動資産	20,622		13,854		6,768	16,489	
固 定 資 産	83,824	31.1	86,030	33.7	2,206	85,116	34.1
有形固定資産	39,145		39,656		510	39,183	
無形固定資産	7,454		8,422		967	8,611	
投資その他の資産	37,224		37,952		727	37,321	
資 産 合 計	269,507	100.0	255,222	100.0	14,284	249,789	100.0
(負債の部)							
流 動 負 債	128,185	47.6	128,973	50.5	788	124,376	49.7
支払手形及び買掛金	71,530		65,082		6,447	61,739	
短期借入金	24,122		30,274		6,152	34,357	
その他流動負債	32,532		33,616		1,084	28,279	
固 定 負 債	69,815	25.9	69,408	27.2	406	73,353	29.4
社債	10,000		10,000		-	10,000	
株予約権付社債	14,268		14,368		100	15,000	
長期借入金	8,741		7,914		827	10,556	
退職給付引当金	35,581		35,774		192	35,219	
その他	1,223		1,351		127	2,577	
負 債 合 計	198,000	73.5	198,382	77.7	382	197,729	79.1
(少数株主持分)							
少 数 株 主 持 分	-		4,090	1.6	4,090	3,921	1.6
(資本の部)							
資 本 金	-		15,858	6.2	15,858	15,541	6.2
資本剰余金	-		11,329	4.4	11,329	11,013	4.4
利益剰余金	-		20,367	8.0	20,367	15,971	6.4
その他有価証券評価差額金	-		4,739	1.9	4,739	4,734	1.9
為替換算調整勘定	-		764	0.3	764	1,179	0.5
自己株式	-		309	0.1	309	303	0.1
資 本 合 計	-		52,750	20.7	52,750	48,137	19.3
負債、少数株主持分及び資本合計	-		255,222	100.0	255,222	249,789	100.0
(純資産の部)							
株 主 資 本	60,125	22.3	-		60,125	-	
資本剰余金	15,908		-		15,908	-	
利益剰余金	11,379		-		11,379	-	
自己株式	33,181		-		33,181	-	
自己株式	344		-		344	-	
評価・換算差額等	6,241	2.3	-		6,241	-	
その他有価証券評価差額金	4,505		-		4,505	-	
繰延ヘッジ損益	17		-		17	-	
為替換算調整勘定	1,753		-		1,753	-	
少 数 株 主 持 分	5,139	1.9	-		5,139	-	
純 資 産 合 計	71,506	26.5	-		71,506	-	
負債及び純資産合計	269,507	100.0	-		269,507	-	

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

期 別 科 目	平成 19年 3月期第 3四半期 〔自平成 18年 3月 21日〕 〔至平成 18年 12月 20日〕		平成 18年 3月期第 3四半期 〔自平成 17年 3月 21日〕 〔至平成 17年 12月 20日〕		増 減 (A) - (B)	前年同期比 (A) / (B)
	金 額 (A)	構 成 比	金 額 (B)	構 成 比		
			%		%	
売 上 高	265,005	100.0	228,179	100.0	36,826	116.1
売 上 原 価	188,599	71.2	165,867	72.7	22,732	113.7
売 上 総 利 益	76,405	28.8	62,312	27.3	14,093	122.6
販売費及び一般管理費	53,748	20.3	48,396	21.2	5,352	111.1
営 業 利 益	22,657	8.5	13,915	6.1	8,741	162.8
営 業 外 収 益	1,845	0.7	1,471	0.6	373	125.4
（受取利息・配当金）	(456)		(253)		(202)	
（雑収入）	(1,388)		(1,217)		(171)	
営 業 外 費 用	1,593	0.6	1,366	0.6	227	116.7
（支払利息）	(905)		(966)		(60)	
（雑支出）	(687)		(399)		(288)	
経 常 利 益	22,908	8.6	14,021	6.1	8,887	163.4
特 別 利 益	3,100	1.2	206	0.1	2,893	1,501.9
特 別 損 失	4,561	1.7	4,758	2.1	196	95.9
税金等調整前四半期純利益	21,446	8.1	9,469	4.1	11,977	226.5
法人税、住民税及び事業税	4,952	1.9	4,983	2.2	31	99.4
法人税等調整額	2,368	0.9	1,319	0.6	3,688	-
少数株主利益	631	0.2	43	0.0	587	1,439.4
四 半 期 純 利 益	13,494	5.1	5,761	2.5	7,733	234.2

3. 四半期連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	株主資本				株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	
平成18年3月20日残高(百万円)	15,858	11,329	20,367	309	47,246
四半期連結会計期間中の変動額					
新株予約権の行使	50	49			99
剰余金の配当			2,093		2,093
役員賞与			169		169
四半期純利益			13,494		13,494
自己株式の取得				35	35
自己株式の処分		0		0	1
連結子会社増加による増加			1,246		1,246
連結子会社増加による減少			21		21
連結子会社減少による増加			1,602		1,602
持分法適用会社減少による減少			1,246		1,246
株主資本以外の項目の四半期連結会計期間中の変動額(純額)					
四半期連結会計期間中の変動額合計(百万円)	50	50	12,813	35	12,879
平成18年12月20日残高(百万円)	15,908	11,379	33,181	344	60,125

	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成18年3月20日残高(百万円)	4,739	-	764	5,503	4,090	56,840
四半期連結会計期間中の変動額						
新株予約権の行使						99
剰余金の配当						2,093
役員賞与						169
四半期純利益						13,494
自己株式の取得						35
自己株式の処分						1
連結子会社増加による増加						1,246
連結子会社増加による減少						21
連結子会社減少による増加						1,602
持分法適用会社減少による減少						1,246
株主資本以外の項目の四半期連結会計期間中の変動額(純額)	233	17	989	738	1,048	1,787
四半期連結会計期間中の変動額合計(百万円)	233	17	989	738	1,048	14,666
平成18年12月20日残高(百万円)	4,505	17	1,753	6,241	5,139	71,506

4. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	平成19年3月期第3四半期		平成18年3月期第3四半期	
	〔自平成18年3月21日〕		〔自平成17年3月21日〕	
	〔至平成18年12月20日〕		〔至平成17年12月20日〕	
期 別	金 額 (A)	金 額 (B)	増 減	
			(A) - (B)	
営業活動によるキャッシュ・フロー				
1 税金等調整前四半期純利益	21,446	9,469	11,977	
2 減価償却費	5,095	5,097	2	
3 固定資産減損損失	2,030	-	2,030	
4 売上債権の増減額	3,367	18,405	21,772	
5 たな卸資産の増減額	8,686	9,418	732	
6 仕入債務の増減額	3,605	5,543	9,148	
7 法人税等の支払額	7,043	10,474	3,430	
8 その他	4,015	435	4,451	
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,066	7,972	1,094	
投資活動によるキャッシュ・フロー				
1 有形固定資産等の取得による支出	5,895	6,199	304	
2 有形固定資産等の売却による収入	1,068	338	729	
3 投資有価証券等の取得による支出	540	95	445	
4 投資有価証券等の売却による収入	188	213	24	
5 関係会社株式の売却による収入	1,792	-	1,792	
6 その他	222	219	2	
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,609	5,962	2,353	
財務活動によるキャッシュ・フロー				
1 短期借入金の純増減額	3,517	4,881	1,363	
2 長期借入による収入	3,715	20	3,695	
3 長期借入金の返済による支出	4,603	3,920	682	
4 配当金の支払額	2,093	-	2,093	
5 少数株主への配当金の支払額	161	186	24	
6 その他	38	32	5	
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,699	9,001	2,301	
現金及び現金同等物に係る換算差額	173	228	55	
現金及び現金同等物の増減額	1,068	6,762	5,693	
現金及び現金同等物の期首残高	12,102	17,906	5,804	
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加	975	-	975	
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,008	11,144	864	

5．連結及び持分法適用範囲の異動

(1) 連結（新規8社 除外4社）

[新規]

非連結子会社であった安川TECOモータエンジニアリング(株)、持分法適用関連会社であった(株)左尾電機工業所、(株)西南電機、(株)藤井精密回転機製作所、(株)ワイ・イー・テック、五楽工業(株)、九州制盤(株)、信和精機(株)を重要性増加により連結子会社といたしました。

[除外]

連結子会社であったシナティクスソリューションズ(株)は、株式売却により子会社でなくなったため、連結の範囲から除外いたしました。また、連結子会社であった(株)安川マニュファクチャリングサービス行橋、(株)安川マニュファクチャリングサービス関東、(株)安川マニュファクチャリングサービス八幡の3社は、連結子会社である(株)安川プロダクトスタッフを存続会社として合併し、新社名を安川マニュファクチャリング(株)といたしました。

(2) 持分法（新規0社 除外8社）

[除外]

持分法適用関連会社であった(株)左尾電機工業所、(株)西南電機、(株)藤井精密回転機製作所、(株)ワイ・イー・テック、五楽工業(株)、九州制盤(株)、信和精機(株)を重要性増加により連結子会社といたしました。また、持分法適用の子会社であった安川電機(香港)有限公司は、会社清算により持分法適用の範囲から除外いたしました。

6．会計方針の変更

- (1) 「役員賞与に関する会計基準」（平成17年11月29日 企業会計基準委員会 企業会計基準第4号）を適用しております。この結果、従来の方法に比べ、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ120百万円減少しております。なお、セグメント情報に与える影響は、「セグメント情報」に記載しております。
- (2) 役員退職慰労金は、従来支出時の費用として処理しておりましたが、規程に基づく第3四半期末要支給額を役員退職慰労引当金として計上する方法に変更しております。この変更は当社及び一部の国内連結子会社の役員退職慰労金規程の整備を行ったことを契機に、役員退職慰労金を役員の在任期間にわたり費用分配することで期間損益の適正化および財務内容の健全化を図るために行なったものであります。この変更により当期発生額90百万円は販売費及び一般管理費に計上し、過年度対応額391百万円は特別損失として計上しております。この結果、従来の方法に比べ、営業利益および経常利益はそれぞれ90百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は481百万円減少しております。なお、セグメント情報に与える影響は、「セグメント情報」に記載しております。
- (3) 在外子会社等の収益及び費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨換算しておりましたが、期中平均相場による円貨換算に変更しております。この変更は、当グループの生産・販売のいずれの面におきましても在外子会社等の重要性が増していることに加え、各四半期毎の損益情報をよりの確に把握する為に行なったものであります。この変更により、従来の方法によった場合に比べて、売上高は2,145百万円、営業利益は153百万円、経常利益は68百万円、税金等調整前四半期純利益は68百万円、それぞれ減少しております。なお、セグメント情報に与える影響は、「セグメント情報」に記載しております。
- (4) 「固定資産の減損に係る会計基準」（「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」（企業会計審議会 平成14年8月9日））及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会平成15年10月31日 企業会計基準適用指針第6号）を適用しております。これにより税金等調整前四半期純利益は2,030百万円減少しております。なお、減損損失累計額については、各資産の金額から直接控除しております。
- (5) 「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」（企業会計基準第5号 平成17年12月9日）及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」（企業会計基準適用指針第8号 平成17年12月9日）を適用しております。これまでの、資本の部の合計に相当する金額は66,385百万円であります。

7. セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

平成19年3月期第3四半期（自平成18年3月21日至平成18年12月20日）

（単位：百万円）

	モーション コントロール	ロボット	システム エンジニアリング	情報	その他	計	消去又は全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	119,686	89,544	31,728	18,421	5,623	265,005	-	265,005
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,802	304	2,078	2,231	13,705	32,123	32,123	-
計	133,489	89,849	33,807	20,653	19,329	297,129	32,123	265,005
営業費用	118,260	83,783	34,441	20,125	17,899	274,509	32,160	242,348
営業利益又は損失()	15,229	6,066	634	528	1,430	22,620	36	22,657

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用する区分によっております。

2. 名称を「ロボティクスオートメーション」から「ロボット」に変更しております。なお、これによる影響はありません。

3. 会計方針の変更

(1) 「役員賞与に関する会計基準」を適用しております。この結果、従来の方法に比べ、当第3四半期連結会計期間の営業費用は、モーションコントロールが46百万円、ロボットが25百万円、システムエンジニアリングが18百万円、情報が15百万円、その他が14百万円それぞれ増加し、営業利益はそれぞれ同額減少しております。

(2) 役員退職慰労金は、従来支出時の費用として処理しておりましたが、規程に基づく第3四半期末未支給額を役員退職慰労引当金として計上する方法に変更いたしました。この結果、従来の方法に比べ、当第3四半期連結会計期間の営業費用は、モーションコントロールが40百万円、ロボットが26百万円、システムエンジニアリングが18百万円、その他が5百万円それぞれ増加し、営業利益はそれぞれ同額減少しております。

(3) 在外子会社等の収益及び費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨換算しておりましたが、期中平均相場による円貨換算に変更しております。この変更により、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結会計期間の売上高はモーションコントロールが1,409百万円、ロボットが802百万円、情報が0百万円、それぞれ減少し、営業費用は、モーションコントロールが1,272百万円、ロボットが785百万円、情報が0百万円、それぞれ減少し、営業利益はモーションコントロールが136百万円、ロボットが16百万円、情報が0百万円、それぞれ減少しております。

平成18年3月期第3四半期（自平成17年3月21日至平成17年12月20日）

（単位：百万円）

	モーション コントロール	ロボティクス オートメーション	システム エンジニアリング	情報	その他	計	消去又は全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	98,354	84,921	21,994	16,109	6,800	228,179	-	228,179
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,370	949	2,089	1,729	16,841	33,981	33,981	-
計	110,725	85,871	24,084	17,838	23,642	262,160	33,981	228,179
営業費用	102,530	78,840	26,617	17,879	22,377	248,244	33,980	214,263
営業利益又は損失()	8,194	7,030	2,533	40	1,264	13,916	1	13,915

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用する区分によっております。

2. 会計方針の変更

従来、技術供与料については営業外収益に計上しておりましたが、売上高に計上する方法に変更いたしました。なお、この変更により、売上高及び営業利益に与える影響は軽微であります。

〔所在地別セグメント情報〕

平成19年3月期第3四半期(自平成18年3月21日至平成18年12月20日) (単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	171,832	39,226	32,392	21,554	265,005	-	265,005
(2) セグメント間の内部売上高	40,631	169	270	7,822	48,894	48,894	-
計	212,463	39,396	32,663	29,377	313,900	48,894	265,005
営業費用	198,093	35,446	30,978	26,596	291,115	48,766	242,348
営業利益又は損失()	14,369	3,949	1,684	2,781	22,785	127	22,657

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は、次のとおりであります。

- (1) 米州 米国等
- (2) 欧州 ドイツ、スウェーデン、イギリス等
- (3) アジア 中国、シンガポール、韓国等

3. 会計方針の変更

- (1) 「役員賞与に関する会計基準」を適用しております。この結果、従来の方法に比べ、当第3四半期連結会計期間の営業費用は、日本が120百万円増加し、営業利益は同額減少しております。
- (2) 役員退職慰労金は、従来支出時の費用として処理しておりましたが、規程に基づく第3四半期末要支給額を役員退職慰労引当金として計上する方法に変更いたしました。この結果、従来の方法に比べ、当第3四半期連結会計期間の営業費用は、日本が90百万円増加し、営業利益は同額減少しております。
- (3) 在外子会社等の収益及び費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨換算しておりましたが、期中平均相場による円貨換算に変更しております。この変更により、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結会計期間の売上高は米州が133百万円、欧州が1,500百万円、アジアが640百万円、それぞれ減少し、営業費用は米州が122百万円、欧州が1,418百万円、アジアが580百万円、それぞれ減少し、営業利益は米州が10百万円、欧州が82百万円、アジアが60百万円それぞれ減少しております。

平成18年3月期第3四半期(自平成17年3月21日至平成17年12月20日) (単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	144,809	37,273	28,509	17,586	228,179	-	228,179
(2) セグメント間の内部売上高	33,780	262	247	5,830	40,120	40,120	-
計	178,590	37,536	28,756	23,417	268,300	40,120	228,179
営業費用	171,174	34,286	26,409	21,552	253,423	39,159	214,263
営業利益又は損失()	7,415	3,250	2,346	1,864	14,877	961	13,915

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は、次のとおりであります。

- (1) 米州 米国等
- (2) 欧州 ドイツ、スウェーデン、イギリス等
- (3) アジア 中国、シンガポール、韓国等

3. 名称を「北米」から「米州」に変更しております。なお、これによる影響はありません。

4. 会計方針の変更

従来、技術供与料については営業外収益に計上しておりましたが、売上高に計上する方法に変更いたしました。なお、この変更により、売上高及び営業利益に与える影響は軽微であります。

〔海外売上高〕

平成19年3月期第3四半期（自平成18年3月21日至平成18年12月20日）（単位：百万円）

	米州	欧州	アジア	その他	計
海外売上高	40,691	33,636	47,210	964	122,504
連結売上高	-	-	-	-	265,005
連結売上高に占める海外売上高の割合	15%	13%	18%	0%	46%

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は、次のとおりであります。

- (1) 米州 米国等
- (2) 欧州 ドイツ、スウェーデン、イギリス等
- (3) アジア 中国、シンガポール、韓国等
- (4) その他 オーストラリア等

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

4. 会計方針の変更

在外子会社等の収益及び費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨換算しておりましたが、当中間連結会計期間より期中平均相場による円貨換算に変更しております。この変更により、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結会計期間の海外売上高は米州が128百万円、欧州が1,475百万円、アジアが534百万円、その他が8百万円、連結売上高は2,145百万円それぞれ減少しております。なお、連結売上高に占める海外売上高の割合に対する影響は軽微であります。

平成18年3月期第3四半期（自平成17年3月21日至平成17年12月20日）（単位：百万円）

	米州	欧州	アジア	その他	計
海外売上高	38,432	29,661	39,200	1,089	108,383
連結売上高	-	-	-	-	228,179
連結売上高に占める海外売上高の割合	17%	13%	17%	1%	48%

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は、次のとおりであります。

- (1) 米州 米国等
- (2) 欧州 ドイツ、スウェーデン、イギリス等
- (3) アジア 中国、シンガポール、韓国等
- (4) その他 オーストラリア等

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

4. 従来、ブラジルの売上高は「その他」の区分に含めて記載しておりましたが、当中間連結会計期間より「北米」を「米州」として区分したことにより、「米州」に含めて記載しております。なお、これによる影響額は軽微であります。

(ご参考)

比較部門別連結売上高

(単位：百万円)

	平成19年3月期 第3四半期(9ヵ月通算) 自平成18年3月21日 至平成18年12月20日		平成18年3月期 第3四半期(9ヵ月通算) 自平成17年3月21日 至平成17年12月20日		対前年 同期 増減率	平成18年3月期 自平成17年3月21日 至平成18年3月20日	
		構成比		構成比			構成比
モーションコントロール	119,686	45.2%	98,354	43.1%	21.7%	133,909	41.5%
ロボット	89,544	33.8%	84,921	37.2%	5.4%	113,458	35.1%
システムエンジニアリング	31,728	12.0%	21,994	9.6%	44.3%	41,932	13.0%
情報	18,421	6.9%	16,109	7.1%	14.4%	24,783	7.7%
その他	5,623	2.1%	6,800	3.0%	17.3%	8,833	2.7%
合計	265,005	100.0%	228,179	100.0%	16.1%	322,916	100.0%

(注)今年度から「ロボティクスオートメーション」の名称を「ロボット」に変更しています。

比較所在地別連結売上高

(単位：百万円)

	平成19年3月期 第3四半期(9ヵ月通算) 自平成18年3月21日 至平成18年12月20日		平成18年3月期 第3四半期(9ヵ月通算) 自平成17年3月21日 至平成17年12月20日		対前年 同期 増減率	平成18年3月期 自平成17年3月21日 至平成18年3月20日	
		構成比		構成比			構成比
日本	171,832	64.9%	144,809	63.5%	18.7%	208,728	64.6%
米州	39,226	14.8%	37,273	16.3%	5.2%	50,353	15.6%
欧州	32,392	12.2%	28,509	12.5%	13.6%	38,235	11.8%
アジア	21,554	8.1%	17,586	7.7%	22.6%	25,600	7.9%
合計	265,005	100.0%	228,179	100.0%	16.1%	322,916	100.0%